

声に出して楽しもう

短歌・俳句に親しもう(一)

石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも

志貴皇子

君がため春の野に出でて若菜摘む我が衣手に雪は降りつつ

光孝天皇

見渡せば柳桜をこきまぜて都ぞ春の錦なりける

素性法師

名月や池をめぐりて夜もすがら

松尾芭蕉

夏河を越すうれしさよ手に草履

与謝蕪村

雀の子そこのけそこのけ御馬が通る

小林一茶